

# 土佐源氏



## 宮本常一

MIYAMOTO Tsuneichi

周防大島出身の民俗学者。戦前・戦後の日本の農山漁村を訪ね歩き、膨大な記録、著書をまとめると共に、地域の未来を開くため住民たちと膝を交えて語り合い、その振興策を説いた。『土佐源氏』は著書『忘れられた日本人』に収められている。

『土佐源氏』を見せてもらって、君の表情が、ときどきではあるが、あつと思わせるほどあの人に似ているところがあって驚いたし、懐かしく思ったりした。

どんな人間も、自分自身に対して誠実に生きている者は、詩を持ち文学を持っている。どのようになさやかな人生でも、それぞれが自らのいのちを精いっぱい生きるのには、やはり素晴らしいことである。



## 坂本長利

SAKAMOTO Nagatoshi

昭和4年(1929年)、島根県出雲生まれ。「ぶどうの会」「変身」等の劇団を経て、小劇場運動の先駆けとして活動。大劇場における商業演劇公演を含め、映画・テレビ・ラジオドラマなどあらゆるシーンでその演技力と存在感を発揮している。60年以上の芸歴の中で、数多くの名だたる俳優と共演し、作家・演出家からも高い評価を得ている。テレビドラマでは『Dr.コトー診療所』の村長役で親しまれた。2013年9月公開、坪川拓史監督映画『ハーメルン』では西島秀俊、倍賞千恵子らと共に主演。代表作である独演劇『土佐源氏』は、昭和42年の初演以来47年間、国内のみならず海外でも絶賛され、今回で1167回目を数える。ほかに、作家・水上勉が坂本の独り語りのために書き改めた『越前竹人形』も展開中。2011年の胃ガン手術後も、精力的に舞台に立ち続け、今年10月で85歳となる。

坂本さんにお目にかかっていると、突然ある気合いに打たれることがあります。「自分の好きなことをして生きているのだから、世間並みの仕合せなどむろん望みはしないいつでも野垂れ死にしてもかまわない」という覚悟が、静かに、動く伝わってくるのです。

この気合い、この覚悟が、たとえば「土佐源氏」への凄烈なこだわりにあしらわれていることは申しあげるまでもありません。

坂本さんのこの気合いや覚悟に、私などもよほど見習わなくてはなりません。

—— 井上 ひさし

昔、坂本さんに小さな献詩を書いたことがある。

創るということは 遊ぶこと  
 創るということは 狂うこと  
 創るということは 愛すること  
 創るということは 生きること

坂本さんと仕事をしていて その言葉が浮かんだ。

—— 倉本 聡

チケット販売所

### シンフォニア岩国受付窓口

山口県岩国市三笠町1-1-1 (JR岩国駅から徒歩10分)

インターネット・Fax・電話でのチケット取扱 / お問い合わせ

### 響和堂

HP. <http://kyowado.jp> / e-mail. [info@kyowado.jp](mailto:info@kyowado.jp)

Fax. 03-3610-5740 / Tel. 080-4200-0808

Faxでお申込みの場合は、お名前・ご住所・Fax番号・ご連絡先電話番号チケット枚数を明記の上、ご送信ください。

お申込期限は、9月10日(水)迄です。以降は電話にてお問合せ下さい。

※未就学児のご来場はご遠慮ください。

※車椅子席をご利用の場合は事前予約が必要です。席数に限りがありますので、ご購入の際にお申し出ください。

※当日券の販売については、事前に電話にてご確認ください。



<http://www.sinfonia-iwakuni.com/>